

平成30年6月27日現在

機関番号：62618

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2017

課題番号：16K16849

研究課題名(和文) 『色葉字類抄』を中心とする本邦国語辞書収録語彙の通時的研究

研究課題名(英文) A Diachronic Study of the Japanese Dictionaries with focus on the Iroha Jiruisho

研究代表者

藤本 灯 (FUJIMOTO, Akari)

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所・言語変化研究領域・特任助教

研究者番号：20733017

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、本邦初の国語辞書である三巻本『色葉字類抄』を起点として、近代以前の国語辞書類に掲載された日本語語彙の消長(出現・消滅)の過程を明らかにし、各時代の国語辞書と日本語文献に用いられた語彙との全体比較を試みようとするものである。また辞書に収録された語彙と当時代に実際に使用された語彙との乖離について調査・考察するものである。本研究の柱は次の三本から成る。
(1)【『色葉字類抄』の基礎研究】収録語彙の性格にかかる研究(伝本研究) (2)【古辞書収録語彙の研究】本邦国語辞書類に見える語の消長についての研究 (3)【古辞書類のデータベース化】

研究成果の概要(英文)：This study examines Japanese dictionaries with a particular focus on Iroha Jiruisho from the Heian period. The contents of the research are as follows:

1. Analysis of the features of the vocabulary recorded in Iroha Jiruisho. 2. Bibliographic investigation of various editions of Iroha Jiruisho (いろは字類抄). 3. Comparison between the vocabularies of various dictionaries. 4. Construction of databases of the contents of Iroha Jiruisho, etc. During the research period, all of the above tasks were completed on schedule.

研究分野：日本語学

キーワード：色葉字類抄 古辞書 国語辞書

1. 研究開始当初の背景

報告者はこれまで、イロハ引き国語辞書である『色葉字類抄』(平安時代末期成立)の研究を様々な角度から行ってきた。特に、『色葉字類抄』中の部立(21部)に注目した語彙研究と、後世に伝わる『色葉字類抄』の写本の調査は、報告者の『色葉字類抄』研究の中心を成すものである。

2. 研究の目的

本研究は、従来の報告者の研究を進展させるとともに、本邦初の国語辞書である三巻本『色葉字類抄』を起点として、近代以前の国語辞書類に掲載された日本語語彙の消長(出現・消滅)の過程を明らかにし、各時代の国語辞書と日本語文献に用いられた語彙との全体比較を試みようとするものである。また辞書に収録された語彙と当時代に実際に使用された語彙との乖離について調査・考察するものである。このことは、従来学界において、個別の語史研究に偏りがちであった点について、見直す契機となるものである。

3. 研究の方法

本研究の柱は次の三本から成る。

(1)【『色葉字類抄』の基礎研究】

収録語彙の性格にかかる研究 伝本研究

(2)【古辞書収録語彙の研究】本邦国語辞書類に見える語の消長についての研究

(3)【古辞書類のデータベース化】

4. 研究成果

(1) として、『色葉字類抄』の語彙と同時代の古記録である『明月記』の語彙とを比較し、国際学会にて調査報告を行った。(The Validity of Using *Iroha-Jiruishō* to Interpret Ancient Japanese Diaries of the Male Nobility)。本報告においては、『明月記』の基本語についても『色葉字類抄』が採録していない場合のあること、日記を書いた

めに『色葉字類抄』を用いることの難しさについて示した。また『色葉字類抄』の部立のひとつである「雑物部」に収録された語彙全体について、特に前時代の漢和辞書『和名類聚抄』の部立との関連を調査し(以前口頭発表を行ったものについて調査し直し、加筆したものである)査読誌に投稿し、掲載された(「『色葉字類抄』「雑物部」の研究」。本論文では、「雑物部」が、特に次の性質の語を含む語群であることを明らかにした。

1. 術芸・音楽に使用する道具を表す語
2. 船・車・宝貨・香(名)・灯火・布帛・装束・器皿に関する語
3. 調度部に収録された、武器・家財道具(日用品)を表す語

(1) 伝本研究の一環として、これまでに調査を行った「いろは字類抄」伝本すべてを対象に、序文・跋文・識語・奥書等を一覧し、比較検討した(「『いろは字類抄』の序文・跋文・奥書類に見える本書の受容」。その結果、体裁等から見える伝本グループと序文等のあり方で分類した伝本グループがほぼ重なることが判明した。

(2)について研究を開始し、『色葉字類抄』イ篇の語彙を対象に、それらの語彙がその後の辞書にどのように受容・継承されたかについて基礎調査を行った。またそのデータを学会で発表した(「『色葉字類抄』が示す消極的要素の意味するもの 本文に明示されない事項の解明に向けて」)。なお本発表の前半では特に、『色葉字類抄』に見えない語群や、本文注記に示されない事実(出典など) 編者や伝本の受容などの未だ明らかでない研究テーマについて列挙し、今後の展望について示したものである。

(3)に関しては、「三巻本『色葉字類抄』収録語彙データベース」を公開し、データ入力・

整備を進めている

(<http://jiruisho.l.u-tokyo.ac.jp/>)。

2017 年度には、「重点部」「諸社部」「諸寺部」「姓氏部」「名字部」に収録された全語について公開し、検索可能とした。また論文「色葉字類抄データベースの構築と展望」を著し、本データベース構築の目的・意義・設計方法等について述べた。また B に関連して、『和名類聚抄』についてデータを公開し(二十巻本和名類聚抄 [古活字版])
<https://textdb01.ninjal.ac.jp/dataset/kwrs/>)、『和名類聚抄』の構成について論じた(「古辞書の構造化記述の試み 和名類聚抄を例に」)。

その他、共同研究として、山田孝雄の未刊原稿を翻字し、解説・索引を付して刊行した(『山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説』)。またそれに先立ち、本原稿の概要および価値について論じ、学会誌に投稿し、掲載された。(山田孝雄の未刊稿『日本文体の変遷』 附『院政鎌倉時代文法史』『院政鎌倉期の語法』)

5 . 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 3 件)

藤本 灯、『色葉字類抄』「雑物部」の研究、査読有、国語語彙史の研究 37、pp183-202、2018

藤本 灯、色葉字類抄データベースの構築と展望、査読有、国立国語研究所論集 11、pp1-9、2016

藤本 灯・田中 草大・北崎 勇帆、山田孝雄の未刊稿『日本文体の変遷』 附『院政鎌倉時代文法史』『院政鎌倉期の語法』、査

読有、日本語の研究 12(4)、pp182-175、2016

[学会発表](計 4 件)

藤本 灯・韓 一・高田 智和、古辞書の構造化記述の試み 和名類聚抄を例に、日本語学会 2017 年度秋季大会、2017 年、金沢大学(石川県・金沢市)

Akari Fujimoto・Sota Tanaka、The Validity of Using *Iroha-Jiruishō* to Interpret Ancient Japanese Diaries of the Male Nobility、15th International Conference of the European Association for Japanese Studies、2017 年、リスボン新大学(ポルトガル・リスボン)

藤本 灯、『いろは字類抄』の序文・跋文・奥書類に見える本書の受容、第 115 回訓点語学会研究発表会、2016 年、東京大学(東京都・文京区)

藤本 灯、『色葉字類抄』が示す消極的要素の意味するもの 本文に明示されない事項の解明に向けて、第 112 回国語語彙史研究会、2016 年、奈良女子大学(奈良県・奈良市)

[図書](計 1 件)

藤本 灯・田中 草大・北崎 勇帆編『山田孝雄著『日本文体の変遷』本文と解説』(勉誠出版、2017)

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日：

国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

三巻本「色葉字類抄」収録語彙データベース

<http://jiruisho.l.u-tokyo.ac.jp/>

二十巻本和名類聚抄 [古活字版]

<https://textdb01.ninjal.ac.jp/dataset/kwrs/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

藤本 灯 (FUJIMOTO, Akari)

大学共同利用期間法人・人間文化研究機構・
国立国語研究所・言語変化研究領域・特任助教

研究者番号：20733017

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 研究協力者

田中 草大 (TANAKA, Sota)